

M	T	W	Th	F	Sa	Su
11/4 藤崎 13~17 春日原休講 18~22 まどか	久留米 二日市	下大利 光が丘	7	8	9 白木原 おおはし	10 朝倉街道
11 春日原	12 久留米 二日市	13 下大利 光が丘	14	15	16 白木原 おおはし	17 朝倉街道 おおはし
18 春日原	19 久留米 二日市	20 下大利 光が丘	21	22	23 藤崎 13~17 白木原休講 18~22 まどか	24 朝倉街道 おおはし

頓悟漸悟

人間は突然「わかった」とひらめく時がある。勉強も同じで、何かのきっかけ(授業、本、文字)で全体像が見える日(時間)がある。その時の事を頓悟と云うがググってみると「仏教用語・ただちに悟りの境地に達することを頓悟、順を追って次第に悟りに近づくことを漸悟」とある。ひらめき(頓悟)は突然現れるものではない。やはり日頃、継続(漸悟)しないとその時は訪れない。ひらめきの頻度はやはり経験の積み重ねの大小に比例することは誰しも想像に難くない。

毎日学校に朝課外から夜になるまで授業を受けて(経験を積んで?)いるのになかなかひらめきません? 勿論、僕の責任もあるだろう。しかしそれは感情をさます考えとマンネリからはひらめきは生まれそうにない。経験の種類が多さ、バリエーションを持つほどひらめいて、そのひらめきも凄そうだ。そして、そのひらめきは新しい経験がトリガー(きっかけ)となって生まれてくるストーリー(勘違い?)が作られてきた。

今東西、旅行記が残っているように、非日常に期待し、何か(変化)を求めている(冬期講習?、本屋の参考書コーナーの誘惑?)。マンネリからはひらめきは確かに生まれにくい。よって新しい経験に打開策を求めようとしがちになる(持たない人ほど旅に期待する)。

しかし、旅行(非日常)に明け暮れると日頃(日常)の仕事ができなくなり、生活が崩壊する。洋服や車、スマホ等(家、部屋)持ちもの(環境)を買わないとモチベーションが上がりず仕事ができない人もあるもそれだろう(受験生で云えば前者は本、講座。後者は自習室、塾、予備校?)。

さて、数学教室ではまづ学校の教材や授業動画を使い、学校の先取りを行い、学校の授業を「なるほど〜」にしていた。これは生徒にとって数学に触れる最大の時間(塾の時間はたかが知っている)を100%経験(漸悟)の時間にするためのものである(授業中ノートを取るのに忙殺されたり、意味が分からない時間だと経験にならないどころか苦痛でしかない)。

授業時間全てを経験にする事で日常が充実したら、ここで旅である。それはセンター過去問だ(ただ、10月末の春日高1のように幾何の次、直ぐ整数に入るとセンター「旅」をする時間はなくなってしまふ。早く出発すれば遠くの景色「国公立大」を拝めるのは数学も旅行も同じである)。

高1春休みから参加した生徒は二次関数を終えて入学式を迎えたように高2夏休み、冬休み、まどかでも次の学期のチャートの先取りをする事ができる。そうなるも更なるスペシャルツアー(マスト・箕輪・愛海・山本矩・安田・新作・理系新作)が日常から組める。ひらめき(頓悟)が生まれるのは最早必然となる。



QRコード
全ての教室の最新時間割・グーグル地図も携帯で見れます!

令和6年度第3四半期時間割

令和6年4月1日

春日原数学教室	月曜日	20:20~22:00	春日原共同利用施設:	春日原小学校校門より徒歩3分
久留米数学教室	火曜日	17:40~19:40	久留米毎日文化教室:	東町公園横西鉄久留米駅徒歩10分
二日市数学教室	火曜日	20:20~22:00	二日市コミセン:	旧筑紫税務署跡西鉄二日市駅徒歩5分
下大利数学教室	水曜日	18:00~19:40	下大利団地公民館:	西日本シティ銀行そば下大利駅徒歩5分
光が丘数学教室	水曜日	20:20~22:00	光が丘公民館2F:	光が丘郵便局よこサニーより徒歩1分
白木原数学教室	土曜日	15:00~17:00	白木原公民館2F:	西鉄白木原駅下車徒歩3分
朝倉街道数学教室	日曜日	15:00~17:00	針摺東公民館:	西鉄朝倉街道駅下車筑紫高校方向徒歩15分
おおはし数学教室	日曜日	18:00~21:00	三宅地祿会館:	西鉄地祿神社バス停前西鉄大橋駅徒歩15分

★出欠の連絡はEメール mail@fcs9981.sakura.ne.jp もしくは 092-919-2200 ★会場までの地図等は「数学専門塾 福岡」とヤフー、グーグル等ネット検索で確認できます